2025 ずし平和デー企画

池子の森の歴史と平和

池子の森には石器時代より人々の暮らしがありました。特に昭和 12 年頃から柏原地区に住む人たちは立ち退きを迫られ、人々の暮らしは消滅しました。池子地区においても同様に終戦間際まで強制立ち退きが続き、弾薬庫に利用されてきた歴史があります。

今でも残る地下壕の入口や戦中に敷かれた線路跡を見学し、池子の森の歴史を振り返りながら平和について考えてみませんか？

安全を最優先します。当日の状況によっては期待通りの見学ができない場合があります。

2025 年 8 月 12 日（火）9:00～11:00

池子の森ビジターセンター集合

（休園日のため久木側入口からは入れませんのでご注意ください）

（来園の際は公共交通機関をご利用ください）

予約制、小学校高学年以上先着 20 名限定、無料

夏の暑い時季に行いますので、健康と安全を考慮して開催します。

- 暑さ対策として、当日は帽子やタオル、水筒等を持参ください。また虫よけ対策をお勧めします。
- 服装は長袖長ズボンを着用し、半袖シャツの場合は長袖の羽織れるものを用意してください。
- サンダル等での参加はお断りします。靴底のしっかりしたものをお履き下さい

また、下記の場合は中止します、ご了承下さい。

- 前日、又は当日の天気が雨の場合。
- 前日 17 時時点で「熱中症特別警戒アラート」の予報がでた場合。

写真：池子弾薬庫（ずしフォトより出典）

【主催・申し込み・問い合わせ】
池子の森を考えるみどりの会
090-1124-5910（大田原）
sagittarius.1957@kmh.biglobe.ne.jp
【共催】逗子市